

第三種郵便物承認 HSK 通巻3482号 2013年1月15日発行

HSK

会報「石川守る会」

No. 60

石川県重症心身障害児（者）を守る会
全国重症心身障害児（者）を守る会
石川県支部 会長 山本 衛

新年明けましておめでとうございます。



年末から強い寒気が流れ込み、とても寒い年明けとなりました。

日本各地でノロウィルスが流行しているようです。会員の皆様方、
お子様たち、体調には十分ご注意ください。

年末の総選挙、政権交代とあわただしい政治状況の中、障害のある人や高齢者など弱い人達の施策が後回しにならないよう注目していく必要があります。

さて、今年は東海・北陸ブロック大会の担当が石川に回ってきます。会場はスカイホテルを予約済みです。

今後会員のみなさまのご協力をお願いして、ブロックのみなさんが参加してよかったと思われるような大会にしていきたいと思っています。 よろしくお願ひします。



東海・北陸ブロック大会に参加してきました！

昨年11月10日～11日三重県伊勢市で開催されたブロック大会に山本、永井、紺井、東、西田の5名で参加しました。

10日の朝5時に医王病院を出発し一路伊勢に向かいました。紅葉シーズンにもかかわらず大きな渋滞にも遭わずに10時前には伊勢神宮に到着しました。せっかくの機会なので「石川守る会」のみなさんのご健康を祈願してお参りしてきました。

大会は13時から松田ブロック長の挨拶で始まりました。地元行政機関の方々や、独立行政法人国立病院機構の方々など多くの関係者が参加されたり、祝辞を述べられたりしました。

記念講演は「子どもたちを中心とした医療をめざして」と題して、三重大学医学系研究科小児科教授 駒田 美弘先生が話されました。

小児科とは：子どもの身体と心を育み、守るための総合診療科である。

小児科専門医、神経の専門医、感染症の専門医、アレルギーの専門医、循環器の専門医、血液・がんの専門医など種々の分野の専門医が連携・協力し合ってレベルの高い医療を提供していく必要がある。

入院中の子どもたちは：一人一人尊厳ある存在である。

もともと素晴らしい力をもっていて、大人とは異なった独自のものの見方をする。

遊びの重要性：気晴らし、ストレス発散、発達を促進する手段である。

子どもの遊びの担当者であるチャイルドライフスペシャリスト、ホスピタルプレイスペシャリストは遊びを通して子どもたちとの信頼関係を築き、その視点を主張する。

在宅医療：必要としている子どもたちへの支援は重要である。

NICU 退院後の乳幼児、難治性疾患の子どもたちに対して関連する施設が連携し合って支援体制を充実する必要がある。

盛り上がった懇親会！石川大会のアピールも！

夜は懇親会です。各地域ごとに分かれていましたが私たちは静岡の皆さんと同じテーブルでした。石川大会に向けて料理チェックをしたり、テ-

第三種郵便物承認 HSK 通巻3482号 2013年1月15日発行

ブルの配置を確認したりしながらの参加でした。

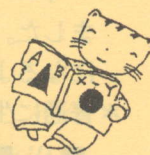
2次会は山本さんと永井さんが夕方休憩中に下見済みのお店へ静岡の皆さんとでかけました。その場で「石川大会への参加」の約束も取れました。

2日目は施設部会、在宅部会、母親部会の3分科会が開催されました。それぞれの分科会には開催県の行政の方、ケースワーカーの方、福祉施設の方などが助言者として参加され、各県から出された質問や意見に応じておられました。

帰りの車の中では石川大会をどのような形で実施するか話し合われました。

参加されたみなさんご苦労様でした。

長距離運転してくださった永井さんお疲れ様でした。



今年度第1回の昼食会が開催されました。

昨年8月26日白山市の日本料理「幸庵」で保護者交流昼食会が開けられました。少し金沢より離れた場所でしたが22名の方の参加がありました。落ち着いた雰囲気の中刺身、金時草の和え物、ずいきのサラダ、天ぷらなど加賀野菜を使った美味しい料理にみな舌鼓を打ちました。

参加者のみなさんは入所の方の親御さん、兄弟の方、在宅の親御さんたちでした。

子どもたちのこと、自分たちの健康のこと、近況報告などたくさん話して楽しい時を過ごせたように思いました。

ドキュメンタリー映画

「普通に生きる～自立をめざして～」上映会成功!!!

11月18日保護者研修として石川県立石川特別支援学校をお借りして上映会を開催しました。当日は160名余りのみなさんに参加していただきました。映画の中の重い障害を持つ人たちの笑顔にやさしく気持ちになり、がんばるお母さんの姿に勇気をもらったひとときでした。

大友先生から所長の小林さんのプロフィールも紹介していただき、さらに理解が深まりました。多くの皆さんから感想を頂きましたので一部を紹介します。



*我が子は重度障害児です。我が子と当てはめて見ていた。親の思いをたくさん聞けて大変良かったです。是非、石川県も富士市のような施設があれば親も子どもも安心した生活をこれからも遅れると思うので、あればいいなと思いました。まずこのような親の声が、そして動きがないと施設設立はしないので・・・動かないといけないのですね。

*みんなの笑顔がとても良かったです。

ケアホームもうらやましいです。

*子どものことは母親である自分が一人で

見て行かなくてはならないという考えでいましたが、子どもにも社会とのコミュニケーションを取らせてあげなくてはいけないという気持ちになりました。もっと親である私が人とのつながりを大切に子どもが幸せな人生になるようお手伝いしていきたいと思いました。

*普通に生きるってどういうことだろうと思い映画を見始めましたが、その



ことがどんなに難しいことなのか分かりました。私は全く障害を持った方と関わったこともなく初めてそうした方の現実や姿を見ることが出来ました。この映画を見たことで私の見方が大きく変わったように思います。

*笑顔いっぱい映画でした。明日からまたがんばります！

*周りの人々を育て、地域や行政を進める力になっていることがよくわかりました。「でらーと」のような通所施設があればいいなと思いました。共感できる映画でした。

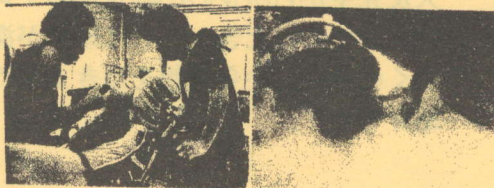
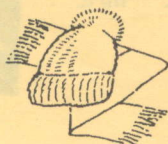
*支援員として改めて役割を考えさせられた機会となりました。

*生きるとは・・・自立とは・・・改めて考えさせられました。でらーと、らぼーとでの保護者(親)の取り組み(力)のすごさに感動しました。人は互いに支え、支えられている素晴らしさを感じました。

*障害児を持つ母親ですが「私がいないと」とか「私じゃないとわかってあげられない」とか思っていました。自分のためにも子どものためにも温室で大事にいさせるよりも、新しい社会に出て行けるよう自立に向けて一緒に進んでいく大切さを学びました。すごくいい作品だと思います。私も息子の笑顔が一番好きです。

*“普通に生きる”利用者さん、介護者の方、保護者の方全ての方が笑顔で輝いていて幸せをもらった気分です。

私も親としてもっと普通に頑張ろうと思います。



*とても感動しました。福祉施設の職員として考えることがたくさんあります。この映画を見たことで自分の方向性に自信が持てました。

*普通という言葉とても重く感じました。色々なものを乗り越えた家族・・・「死を考えた」という言葉がささりました。だからこそその笑顔に感動しました。ありがとうございました。

*皆さんの表情がキラキラ輝いていました。私は重症心身障害児(者)の方々と関わる仕事をしています。明日からまた利用者様の笑顔が見られるような支援をしていきたいと思います。

*ありがとうございました。久しぶりに子どものことを考える機会がフレッシュな気分です。子どもは子どもらしく、親は親らしくそれぞれの時間を楽しみながら生きていけたらと思います。



たくさんの人に関わっていただいて広い人間関係を築いていってもらいたいと思います。

*久しぶりに障害児を持つお母さん達のほとばしる情熱を感じ、私の現在のマンネリ化した生活にカツを入れられたような気持ちになりました。あきらめることの多くなった日常にもう一度力をいただきました。

*今、私が息子に接して生きていることは自分なりに「普通に生きる」だと勝手に思いこんでいることに気づかされました。息子にはもっと他の人との関わりが必要であり、私が老いて一緒にいられなくなる前に社会性を養ってあげなければいけないと切に感じました。



*将来特別支援学校の教員を目指している私にとって、この映画を見たことで改めて決意を固めることができました。障害のある人となない人ではいくら“壁をなくそう”“平等な社会”とかかざってもなかなか難しいことがあると思います。「普通に生きる」ことがどれだけ難しく、しかし幸せかということに焦点を当てたこの映画はとても素敵だと思いました。

*今高校3年生で進路で作業療法士になりたいと思っています。その中でも子どもが好きで人と関わるのが好きなので、今からどのようなことを思っ

て学習していけばよいかとても参考になりました。
*ただ福祉の受け手になるのではなく、自らが福祉の担い手になる。親御さんが地域や行政に働きかけ、ニーズを実現させる姿はとても力強く頼もしく思いました。親の姿に焦点が当たっていて、成人式で今までの辛い思いや涙を見たり、親であっても自分の人生を楽しく生きる権利があることや、普段の姿を見ることが出来てとても勉強になりました。



第三種郵便物承認 HSK 通巻3482号 2013年1月15日発行

昼食会のお知らせ

今年度2回目の昼食会を下記の通り計画しました。
お誘い合わせの上ご参加ください。

日・時 平成25年3月3日(日) 12時～
場 所 石 亭 金沢市広坂1丁目9-23
TEL 231-2208

会 費 2500円

申し込み 入所の方・松本さん TEL 283-4432
在宅の方・紺井さん TEL 288-5413

申し込み締め切りは2月20日です。

* 寒さも少しやわらぐ頃かと思います。多数の方のご参加をお待ちしています。

東海・北陸ブロック大会のお知らせ

日 時 平成25年11月16日(土)～17日(日)
場 所 石川県 金沢市 武蔵町 金沢スカイホテル

* 会員の皆様のご協力をお願いします。

訃 報

平成24年9月に本会会員川畑義光様のご息女が亡くなりました。心よりご冥福をお祈りいたします。

平成24年10月本会会員酒井昭夫様のご子息が亡くなりました。心よりご冥福をお祈りいたします。



編集人 : 石川県重症心身障害児(者)を守る会
連絡先 : 929-0123 石川県能美市中町ツ88-1
TEL 0761-56-0610
会長 山本 衛
発行人 : 北陸障害者定期刊行物協会
富山市今泉312番地
定 価 30円